



市の木 ラカンマキ

とうがね 議会だより

第144号 平成22年8月1日 発行
発行 東金市議会
〒283-8511
東金市東岩崎1番地1
電話 0475 (50) 1181
発行人 東金市議会議長 松戸 進

【就任の挨拶】

私たちは、このたび議員各位のご推挙により、議長・副議長に就任いたしました。
この重責を深く認識し、市政の発展と開かれた議会運営に渾身の努力を傾注する所存でございます。
地域医療の充実、地域経済の振興や少子高齢化社会への対応など、諸課題に議会一丸となって邁進し、市民の皆様が安全で安心して暮らせる東金を目指し、地方主権にふさわしい議会機能のより一層の充実に努めてまいります。
市民の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます、就任の挨拶といたします。



東金市議会副議長
早野 誠



東金市議会議長
松戸 進

平成22年 第2回市議会臨時会

議長に松戸 進氏、

副議長に早野 誠氏を選出

平成22年第2回東金市議会臨時会が、去る5月12日に開かれました。

この臨時会には、市長提出の議案5件が提出され、全て可決・承認・同意されました。

また、正副議長の辞任による改選、常任委員会委員、一部事務組合・広域連合議会議員、各種委員の選出が行われました。

市長提出議案

◆第1号議案

専決処分した事件の承認について

市税条例の一部を改正する条例

平成22年度地方税制改正を内容とする「地方税法等の一部を改正する法律」の公布に伴い、「市税条例」中の関連する規定等の整備を行ったもの。

改正の主な内容は、個人住民税における扶養控除の一部改廃、たばこ税の税率の改

正。

◆第2号議案

専決処分した事件の承認について

東金市都市計画税条例の一部を改正する条例

平成22年度地方税制改正を内容とする「地方税法等の一部を改正する法律」の公布に伴い、「東金市都市計画税条例」中の

備を行ったもの。
(原案承認・賛成多数)

◆第3号議案

市長の給料の特例に関する条例の制定について

平成18年7月に起きた城西幼稚園の園児が亡くなった事故の関係職員について業務上過失致死罪が確定したことを受け、本市行政の総括責任者としてその責任を明らかにするとともに、安全対策等を徹底して再発防止に努力するため、平成22年6月から8月

までの3か月間、市長の給料の月額10分の1を減ずるためのもの。
(原案可決・賛成多数)

◆第4号議案

固定資産評価員の選任について

鈴木康一氏を選任しようとするもの。
(原案同意・賛成多数)

◆第5号議案

固定資産評価審査委員会の委員の選任について

小林 力氏を選任しようとするもの。
(原案同意・賛成多数)

東金市議会各常任委員会委員構成表

(平成22年5月12日現在)



石田 明



中丸 悦子



宍倉 敬文



宮山 博

| | | | | |
|------|-------------------------|--------------------------------------|------------------------|-------|
| 総務 | 委員長 石田 明 副委員長 佐竹 真知子 | 齊藤 今 藤竹 邊 範真 直 吉知 樹 前石 宮 | 京田 山 田田 山 前石 宮 | 子明 博 |
| 文教厚生 | 委員長 中丸 悦子 副委員長 水口 剛 | 前清 中戸 嶋宮 丸田 里利 悦英 奈男子 夫 | 伊水 松 藤口 戸 博 | 幸剛 進 |
| 建設経済 | 委員長 宍倉 敬文 副委員長 小倉 治夫 | 小塚 布石 倉瀬 施渡 治一 栄徹 夫夫 亮男 | 宍大 広早 倉野 田野 敬政 幸 | 文廣 吉誠 |
| 議会運営 | 委員長 宮山 博 副委員長 広田 幸吉 | 石塚 広早 田瀬 田野 明一 幸 明夫 吉誠 | 小中 宮松 倉丸 山戸 治悦 | 夫子 博進 |

議会選出各種委員及び一部事務組合・広域連合議会議員表

(平成 22 年 5 月 12 日現在)

| 名 称 | 定数 | 氏 名 |
|-----------------------------|----|---|
| 山武郡市広域行政組合議会議員 | 2 | 早野 誠 松戸 進 |
| 山武郡市広域水道企業団議会議員 | 1 | 松戸 進 |
| 東金市外三市町清掃組合議会議員 | 3 | 石田 明 塚瀬 一夫 広田 幸吉 |
| 千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員 | 1 | 松戸 進 |
| 東 金 市 監 査 委 員 | 1 | 渡邊 直樹 |
| 東 金 市 農 業 委 員 | 2 | 塚瀬 一夫 大野 政廣 |
| 東 金 市 社 会 教 育 委 員 | 1 | 中丸 悦子 |
| 東 金 市 土 地 開 発 公 社 | 理事 | 4 小倉 治夫 水口 剛 宮山 博 今関 正美 |
| | 監事 | 1 佐竹 真知子 |
| 九十九里地域水道企業団理事 | 1 | 松戸 進 |
| 東 金 市 国 保 運 営 協 議 会 委 員 | 3 | 前田 京子 宍倉 敬文 布施 栄亮 |
| 東 金 市 ガ ス 事 業 運 営 委 員 会 委 員 | 10 | 前嶋 里奈 伊藤 博幸 清宮 利男 斉藤 範吉 小倉 治夫 宍倉 敬文 塚瀬 一夫 大野 政廣 布施 栄亮 広田 幸吉 |
| 山武水道企業団水道事業運営委員会委員 | 1 | 広田 幸吉 |
| 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員 | 1 | 石渡 徹男 |

会 派 設 置 状 況

(平成 22 年 5 月 6 日現在)

陵 志 会

構成員 (5人)

◎代表 石田 明
清宮 利男 石田 明
塚瀬 一夫 渡邊 直樹
石渡 徹男

設置年月日 平成 21 年 4 月 1 日

蒼 政 会

構成員 (4人)

◎代表 大野 政廣
大野 政廣 宮山 博
早野 誠 今関 正美

設置年月日 平成 21 年 4 月 1 日

公 明 党

構成員 (3人)

◎代表 中丸 悦子
佐竹真知子 中丸 悦子
布施 栄亮

設置年月日 平成 21 年 4 月 1 日

清 風 会

構成員 (3人)

◎代表 宍倉 敬文
小倉 治夫 宍倉 敬文
松戸 進

設置年月日 平成 21 年 5 月 16 日

東 桜 会

構成員 (1人) 前嶋 里奈

設置年月日 平成 22 年 5 月 1 日

無名の会

構成員 (1人) 伊藤 博幸

設置年月日 平成 21 年 4 月 1 日

東金市民フォーラム

構成員 (1人) 斉藤 範吉

設置年月日 平成 21 年 4 月 1 日

日本共産党

構成員 (1人) 前田 京子

設置年月日 平成 21 年 4 月 1 日

社会民主党

構成員 (1人) 水口 剛

設置年月日 平成 21 年 4 月 1 日

志 政 会

構成員 (1人) 広田 幸吉

設置年月日 平成 21 年 4 月 1 日

保守系無会派

構成員 (1人) 戸田 英夫

設置年月日 平成 21 年 4 月 8 日

市長提出議案

◆第1号議案

専決処分した事件の承認について

平成22年度東金市一般会計補正予算(第1号)

既定の予算額17億7千万円を増減を加えず、歳出で衛生費912万1千円を増額、予備費を同額減額するもの。日本脳炎の予防接種の積極的勧奨の再開に関する経費を計上。(原案承認・全員賛成)

◆第2号議案

東金市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

平成22年度国民健康保険税の賦課に当たり、医療費分に係る基礎課税額をはじめとする税率等に関する規定の全般的な見直しを行い、併せて低所得者層の軽減額に関する規定の改正を行うとともに、「地方税法等の一部を改正する法律」による

市町村関係の地方税制度が改正されたことに伴う関係規定の整備を行うためのもの。(原案可決・賛成多数)

◆第3号議案

職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

東金市職員の勤務時間、休暇等に関する条例に「時間外勤務代休時間」を新設したことに伴い、この「時間外勤務代休

時間」についても現に特例として職員団体の活動を可能としている休日、代休日等と同様の取扱いとする改正を行うためのもの。(原案可決・全員賛成)

◆第4号議案

東金市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

「国家公務員の育児休業等に関する法律」の一部を改正する法律の公布に伴い、

配偶者が育児休業を

平成22年 第2回東金市議会定例会

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの中期目標を定めることについてなど11議案を可決・承認・同意

平成22年第2回東金市議会定例会は、6月8日から6月24日までの17日間の会期で開かれました。本定例会では、市長提出の議案10件と追加議案1件が提出され、すべて可決・承認・同意されました。また、議員提出の発議案3件が提出され、すべて可決されました。上程された請願3件はすべて採択、陳情4件のうち1件は継続審査、3件は不採択となりました。市政に関する一般質問には、各会派の代表質問に4名、個人質問に6名が登壇し、地域医療やまちづくり、福祉・教育行政や産業振興など幅広い課題について活発な議論が行われました。

【クールビズ】夏の軽装に取り組んでいます。

東金市議会では地球温暖化防止のため、6月定例会から9月定例会まで、本会議などすべての会議で「ノー上着・ノーネクタイ」を実施しています。市民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

している場合であっても育児休業等の取得を可能なものとするなどの改正を行うためのもの。

(原案可決・賛成多数)

◆第5号議案

東金市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

深夜勤務及び時間外勤務の制限に関する規定について、職員が小学校就学の始

期に達するまでの子を養育するため、又は要介護者を介護す

るための要件を緩和するとともに職員が3歳に満たない子を養育するための制限

に関する規定を新設するためのもの。

(原案可決・全員賛成)

◆第6号議案

千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議

について

印旛郡印旛村及び同郡本埜村が廃止され、その区域が印西市に編入されたこと

に伴い、同組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の一部を改正する規約の制定

に関する協議

について

◆第7号議案

千葉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議

ことに付いて、関係地方公共団体と協議をしようとするもの。

(原案可決・全員賛成)

◆第8号議案

千葉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議

について

◆第9号議案

平成22年度東金市一般会計補正予算(第2号)について

既定の予算額1億7千4百万円に歳入歳出それぞれ3億1千5百万円を増額し、予算の総額を1億7千5百万円とするもの。

歳入で県支出金3,523万3千円、諸収入2,300万円を増額、国庫支出金3,376千円を減額、歳出で総務費2,300万円、民生費1,023万8千円、農林水産業費2,161万9千円を増額。

(原案可決・賛成多数)

◆第10号議案

平成22年度東金市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について

国民健康保険税率の軽減を図るため、既定の歳入予算において、繰越金を増額

し、国民健康保険税の減額を行うこととするもので、歳入で国民健康保険税8,000万円を減額、繰越金8,000万円を増額。

(原案可決・賛成多数)

◆第11号議案

副市長の選任について

八田 稔氏を選任しようとするもの。

(原案同意・賛成多数)

◆追加議案

副市長の選任について

八田 稔氏を選任しようとするもの。

(原案同意・賛成多数)

◆発議案

国営かんがい排水事業「両総地区」の完成にむけての意見書について

(原案可決・全員賛成)

◆発議案第2号

国における平成23年度教育予算拡充に関する意見書について

(原案可決・全員賛成)

◆発議案第3号

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について

(原案可決・全員賛成)

◆請願

請願第5号

「国営かんがい排水事業「両総地区」の完成にむけての意見書」採択に関する請願

「国における平成23(2011)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願

(採択)

「国営かんがい排水事業「両総地区」の完成にむけての意見書」採択に関する請願

(採択)

「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める請願

(採択)

「国営かんがい排水事業「両総地区」の完成にむけての意見書」採択に関する請願

(採択)

東金市外三市町環境クリーンセンターの稼動終了に伴う陳情

(継続審査)

市政に関する一般質問

地域医療

問 県立東金病院の今後についての市の考え方について

答 県立東金病院本棟の敷地1万6,958平米は東金市の所有で、県知事との間で使用貸借契約を昭和48年4月1日に地代無償で締結している。県は、当地域医療センター開院と同時に、東金病院の機能を引き継ぐという考え方を示している。閉院後、東金病院の敷地の返還にあたっては、契約書第5条に、県はこの土地の使用目的が終了したときは、市の指示により返還すること、また返還に伴って生ずる経費は一切県の負担とすること

問 東金九十九里地域医療センターの今後のスケジュールについて

答 地方独立行政法人の認可申請とその許可及び設立時期、中期計画や業務運営資金関係予算の議決の今

問 東金九十九里地域医療センターの中期計画、関係予算、会計設置条例など、関係する議案が8月の臨時議会において議決された後に設立したいと考えている。基本設計は工期が平成23年1月25日、今後、医療現場の方

問 東金九十九里地域医療センターの中期目標について

答 日本共産党は、この間、喫緊に必要なことは2次救急の充実であると言ってきた。いつでも誰もが安心して医療にかかれるように考えなければならぬ。そこで、中期目標の概要と、

東金九十九里地域医療センター建設予定地



市役所1階ロビーで本会議をご覧いただけます。現在、議会中継放映の試行として、市役所庁舎内に限って議場の中継放映を行っています。市役所1階のロビーに設置されたテレビで、本会議の様子をご覧いただくことができます。

平成 21 年度に県が策定した千葉県地域再生プログラム事業計画に係る、山武・長生・夷隅地域のワーキンググループでの検討・協議の結果について伺いたい。

答 中期目標は、地方独立行政法人の立ち上げと病院開設準備に係る事項を定めたものである。これまでのワーキンググループの協議の要として、山武地域は 2 次輪番において外科の対応が、医師不足のため救急の現場が大変厳しい。2 次救急医療の強化には医師確保策を強力に進めることが最重要である。長生地域では 2 次医療において長生病院の負担が大きくなっている。夷隅地域では 2 次輪番を組むのは大変厳しい状況で、2 次救急医療の強化のためには、医師・看護師確保と 2 次輪番病院への財政支援が必要であるということが主な意見である。

問 地域医療について (社会民主党 水口 剛)

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの中期目標が議案に出ている。県試案は県立東金病院を引き継ぎ、センター開設までは東金

病院を充実させ、センタースタッフの研修をさせることになってきた。これが目標の中には一言半句ともない点、医師確保について「信頼」「約束」と言われているが担保はまったくない点、また、センター事業が地域医療と乖離しているが、死亡の約 6 割の生活習慣病、重症化を防ぐ予防医療について伺いたい。

答 この中期目標の前半は、東金病院の院長も入ってつくり上げた計画があり、センターの内容・機能が出来上がって、具体的な形で目標に落とし込んでいく。医師確保については、大変な状況の中で現場として何らかの形で担保を取りたい。一つは研修機能を地域の病院で行うことが大きな要素で、地方独立行政法人と千葉大学がその実現性を保障する協定を結んでいく。また、地域医療との乖離について、センターはまず急性期を担うべきという議論で来ており、慢性期医療は地域連携で行う。

問 新たな時代に即した行政運営と

5 月の臨時議会での市長のあいさつに、新たな時代に即した行政運営を行うとの文言が何回か入っているが、どのような行政を目指しているのか、具体的な説明を伺いたい。

答 市長 4 期目を迎えて、国における政権交代もあり、地域や少子・高齢化社会、低炭素型社会について東金市としてどう受けとめ、どう対応するかが新たな施策、新たな行政運営の展開であると考えている。そして、こうした状況を踏まえた状況から、選挙でも約束した東金九十九里地域医療センターの確実な推進、児童・生徒の安全確保としての教育施設の耐震改修、社団法人緑花木センターの新組織の立ち上げ支援をはじめとして、農業施策の充実、雇用促進による地域産業の振興や少子化時代に対応した子育て環境の整備などの充実を努めることを考えている。さらに、これらを限られた財源の中で展開していくため、市民との協働といった工夫も新たな行政運営として必要になる

と考えている。

問 第 2 次東金市財政リフレッシュ・プランについて (清風会 小倉治夫)

平成 22 年度で第 2 次東金市財政リフレッシュ・プランが終了するが、達成度はどのようになっていくのか。また、達成の度合いから見た問題点、終了を目前にしての課題について伺いたい。

答 第 2 次財政リフレッシュ・プランの成果について、5 年間の目標・取り組みの目標・取り組み効果額合計 38 億 4,700 万円に対して、平成 20 年度までの 3 年間の実績は 22 億 5,200 万円、進捗率は 58・5% となった。計画策定時は 3 年間で 20 億 7,200 万円、率で 53・8% を見込んでいたが、実績では 1 億 8,000 万円、約 4・6% ほど計画を上回った。また、平成 21 年度の成果は、現在の決算の整理中で、9 月議会を目前に報告したい。景気低迷等により歳入確保が容易でない状況にあること、各種民間能力の積極的な活用が計画にあるような進展を得られていないこと、このプランにおける取り組みの市民への周知についてさら

行 財 政

新たな時代に即した行政運営と

と考えている。

問 東金市の「財政立て直し」の見通しについて (東桜会 前嶋里奈)

本市の厳しい財政状況の中、新病院建設に着手していくにあたり、公債費の見通しについて伺いたい。

答 新病院建設の事業費は 125 億 7,100 万円、このうち病院事業債としての借入れは 102 億 8,400 万円を考えている。これに 30 年間の償還利子が 35 億 9,600 万円加わり、事業の支払い総額は 161 億 6,700 万円となる。この借入れの償還に対して、県の起債償還に対する支援金 71 億 8,300 万円、地方独立行政法人の法務省の基準による自己負担分 33 億 4,900 万円、国の起債償還に対する地方交付税 31 億 2,300 万円を充てること、東金市と九十九里町が負担する公債費は 30 年間で 2 億 2,500 万円となる。つまり、病院建設に伴う公債費負担は財政上大きな負担になるものではない。

中で、全国的に住みずからが自分たちの住む市や町の財政状況を理解しようとする動きが活発であり、住民による自治体の財政白書が盛んに行われている。本市においても、地域医療センターのあり方が市民の間で問われている中で、今後この予算、決算などは、今まで以上に市民の関心の高いものになってくると考えている。「広報とうがね」における予算・決算などの公表に關して充実を図っていく考えがあるのか。また、財政特集を今後も掲載していく考えがあるのか、この意見に対して市はどのように考えているのか伺いたい。

答 現在、財政リフレッシュ・プランにおいて、財政の状況やプランの進捗状況を市民に公表していくとしており、平成 20 年度・平成 21 年度は年間 6 回の特集を組んで予算・決算の状況、市の財政状況などについてお知らせしている。市民に伝えるべきことは財政面に限らず、広報紙を通じて今後とも情報発信していきたいと考えている。

問 「広報とうがね」について (無名の会 伊藤博幸)

今、地方分権が進む中で、全国的に住みずからが自分たちの住む市や町の財政状況を理解しようとする動きが活発であり、住民による自治体の財政白書が盛んに行われている。本市においても、地域医療センターのあり方が市民の間で問われている中で、今後この予算、決算などは、今まで以上に市民の関心の高いものになってくると考えている。「広報とうがね」における予算・決算などの公表に關して充実を図っていく考えがあるのか。また、財政特集を今後も掲載していく考えがあるのか、この意見に対して市はどのように考えているのか伺いたい。

答 現在、財政リフレッシュ・プランにおいて、財政の状況やプランの進捗状況を市民に公表していくとしており、平成 20 年度・平成 21 年度は年間 6 回の特集を組んで予算・決算の状況、市の財政状況などについてお知らせしている。市民に伝えるべきことは財政面に限らず、広報紙を通じて今後とも情報発信していきたいと考えている。

問 窓口対応について (陵志会 石田 明)

障がい者は、不自由な体を押しつけてまで見えており、一つの要件を済ますのにも時間がかかり、相談の内容によって要件を思うように伝えられず、また、理解するまでに時間を要することも多いように思われる。障がい者からの意見として「市の窓口対応において、納得のいく説明やわかりやすい説明という点で不自由さを感じている」という話を聞くことがあるが、この意見に対して市はどのように考えているのか伺いたい。

答 障がい者の方から窓口説明が十分でないという話をいただいている点に關しては、職員研修などに参加して資質の向上に努めるとともに、障がい者を理解するということから、本年 4 月に県が職員向けに障がい者の特性や配慮すべき点を解説した「障がいのある人に対する情報保障のためのガイドライン」を本市においても活用できるように庁内各課に周知した。今後もこれらの取り組みをさらに進め、障がい者の立場に即した窓口での対応に努めたい。

問 通学路の周知について (陵志会 石田 明)

通学路の定義と児童・生徒、保護者、地区住民に対する周知方法、及び国道・県道・市道を通学路として指定した場合の各道路管理者に対する報告について伺いたい。また、安全・安心の観点から、過去の通学路の危険箇所に対する改善要望などの経緯についてあわせて伺いたい。

答 通学路は、児童・生徒の通学における安全確保のため、小・中学校長が指定した教育委員会へ報告した道路のことであり、各学校が児童・生徒や保護者に対しては周知しているが、

十分になされていないので、今後は学校と協議し、学校や教員を通じて地域住民にも周知していきたい。各道路管理者への報告は、市道については市建設課に報告しているが、国道・県道については報告していない。また、通学路の危険箇所について、改善要望の件数は過去 3 年間で計 34 件、これに対して整備済み又は整備中が 15 件であり、現段階で、条件を見合った整備を行っている。

問 保有施設の保全状況について (文化・スポーツ)



交通安全教室

平成22年第2回(6月) 東金市議会定例会に通告された一般質問の項目

◎は質問者 (通告順に掲載)

Table with 3 columns: 要旨 (Main Points), 会派 (Party), 状況 (Status). It lists 18 general questions from various council members regarding topics like medical centers, public transport, budget, and safety.

設 (審員) 齊藤範吉 市保有の施設について、保全されていない状況が多く見受けられ、市民から利用にあたって頻繁にクレームが寄せられている。家徳スポーツ広場及び青年の森公園のテニスコートのクラックは競技者を転倒させてしまうし、中央公民館は建設以来外壁のメンテナンスが行われていないように見える。また、東金文化会館も設備の老朽化が危機的状況であると思われ、現時点での市保有の各施設の保全に必要な費用について伺いたい。

建設・経済 生涯学習課所管の施設の中で、東金文化会館は約7億円強、スポーツ施設は5,700万円程度の修繕費が必要であると考えている。早急に修理を行う必要があると思うが、多額の経費が必要となることから、イベント等の催し物に支障が出ないように、精査の上、計画的に修繕を進めたいと考えている。また、図書館と中央公民館については、本年度に耐震診断を行う予定であり、その結果を見て考えたい。

問 地産地消に対する考え方について (陵志会 石田 明) 住民意識において78%の方が食の安全・安心に関心があるとされている。日常、スーパーなどで〇〇産の野菜という表示で購入している食物は、国や県が設定した安全基準をクリアしたものであると思うが、地元産の食品について、安全・安心の徹底について市の考え方とチェック方法について伺いたい。また、食の安全・安心をPRするための方法についてあわせて伺いたい。

問 鶺鴒の森周辺の公園整備について (蒼政会 宮山 博) 鶺鴒の森公園周辺の整備は、いつの間にか断ち切れた状況で、その後について詳しくは分からないう。もう少し視点を変えた発想で、八鶴湖、鶺鴒の森、とがね湖を遊歩道で結ぶルートを将来の観光資源の目玉として



鶺鴒の森 和泉ヶ池周辺 「私の桜植樹祭」 植樹前

て、1年に二、三、四百程度の予算で、あの土地に合った特色のある樹種を選んでオーナー制により植栽し、10年後ぐらいを目途に計画を推進したい。



鶺鴒の森 和泉ヶ池周辺 植樹後の今年の風景

問 米の戸別所得補償制度の取り組みの現状について (公明党 布施栄亮) 鶺鴒の森公園周辺は、岩川池や山王台周辺の遊歩道を整備し、アジサイを

メインに植栽を行ってきた。また、鶺鴒の森公園は、自然環境を生かした市民に親しまれる公園づくりを目指し、みずから桜やカエデなどの苗木を購入して植樹する市民参加型の整備を進めてきた。今後も、「四季の彩りにあふれた公園」をイメージして、周辺の観光資源とネットワーク化を図れるよう、広く市民や専門家意見、アイデアを取り入れながら、特色ある公園づくりに取り組みたい。

戸別所得補償制度は、国が直接農家に交付金を支払う点で、今までよりベターな仕組みだが、まだ事務的手続などが農家によく理解されていない。また、水田利活用自給率向上事業では、10a 当たり 8 万円が支給される点では魅力ある制度で、農家が作物を選択できることも非常にいいが、下支えする販売、流通、保管などの基盤整備が手つかずのままです。スタートしたものである。当市の現状について伺いたい。

答 現在まで米戸別所得補償モデル事業の加入申請件数は 66 件、作付面積は 96・3 ha、水田利活用自給率向上事業の加入件数は 43 件、作付面積は 35・4 ha である。制度導入により米粉用米、飼料用米等の新規需要米等の作付面積が増加傾向で、引き受ける側の需要が逼迫した状況にあり、農家へ有利な実需者情報の提供が行えない等の課題も生じている。今後は、加入申請期限の平成 22 年 6 月 30 日まで関係機関との連携をより強化して、取り組みを継続していく。

問 口蹄疫の状況について

(公明党 布施栄亮) 宮崎県で発症した口蹄疫は、鹿児島県の隣の都市まで飛び火しており、終息宣言どころか、猛威を振るっている状況である。公明党は急遽対策本部を設け、殺傷処分に当たり農家の負担を軽減するために補償を取りつけるという形で対応した。当市では、9 月末から 10 月にかけて千葉国体という人の交流がある大きな国民的イベントが控えており、口蹄疫に關して当市、また千葉県への影響が懸念される状況である。今後の対応、対策について伺いたい。

答 口蹄疫に対しては、東部家畜保健衛生所や山武農林振興センターと連携し行動する。また、発生防止に伴う消毒実施のための消石灰を県の補助事業を活用し、各畜産農家に配布した。本市や周辺で仮に口蹄疫が発生した場合には、平成 17 年に策定したいわゆる鳥インフルエンザ対策の行動体系と同様に対応になると聞いているが、いずれにしても、千葉県及び東部家畜保健衛生所の対策本部と連携して行動する形となる。

問 第 3 次総合計画

画の中の林業振興について (志政会 広田幸吉) 第 3 次総合計画の中で林業振興については、「従事者の減少と高齢化が進み、森林の管理が十分に行われず、サンブスギ溝腐病などの被害が深刻化している。多様な生物の生息の場、水源の涵養機能など、森林の多面的な役割の維持を図るとともに有効に活用していく必要がある。また、千葉県木材市場協同組合と連携・協力して、地元材の販売を促進していく必要がある。」などと記してある。具体的にどのような手だてを行ってきたのか。また、その進捗状況について伺いたい。

答 県単補助事業を活用して平成 21 年度末で、溝腐病対策としての伐倒等を目標 90 ha に対し 83・4 ha を実施し、植林は目標 33 ha に対し 32・5 ha を実施した。また、森林の機能強化対策として、県単補助事業を活用して平成 21 年度末までに 79・3 ha の下刈り、枝打ち等を実施した。今後とも森林機能の保全・活用に向け、県や森林組合等との連携協力の中で取り組みを進めていきたいと考えている。

永年在職議員表彰

永年にわたり地方自治の発展と市政の進展にご尽力された功績により、全国市議会議長会から次の方々が表彰を受けられました。

(議員 10 年)



早野 誠議員

今関正美議員

宮山 博議員

松戸 進議員

石崎公一元議員

石渡徹男議員



【山武郡市議長会議員研修会】

7 月 2 日、山武市の「のぎくプラザ」において、山武郡市議長会議員研修会が開催され、「慶応義塾大学法学部政治学科教授 片山 善博 氏 (前鳥取県知事)」による「地方分権と自治体議会」についての講演が行われました。

- | | | | | | | | | |
|------|------|-----|-------|----|-----|------|-----|-----|
| 大野政廣 | 宍倉敬文 | 石田明 | 佐竹真知子 | 委員 | 水口剛 | 副委員長 | 早野誠 | 委員長 |
|------|------|-----|-------|----|-----|------|-----|-----|

平成 22 年度
議会編集委員会

※ 紙面の都合上、代表質問、個人質問の一部について要旨を掲載しています。詳細については、図書館・中央公民館及び市役所情報公開コーナーにて「会議録」の閲覧、または、東金市ホームページより会議録検索システムをご覧ください。

(9 月上旬発刊・掲載予定)

会議録検索のホームページアドレス

<http://www.city.togane.chiba.jp/gikaikaigiroku/>

議会を傍聴しましょう

次の定例会は、9 月 3 日 (金) 10 時から開会される予定です。(受付は 8 時 30 分から)
また、請願・陳情の提出期限は、8 月 27 日 (金) です。

詳しくは議会事務局まで
☎ 0475-50-1181

お知らせ

公職選挙法では、議員等は「選挙区内にある者に対し、いかなる名義をもってするを問わず、寄附をしてはならない。」とされていることから、東金市議会では、虚礼廃止を徹底すべく申し合わせています。